



心急道儒(心急道儒)と道通君子(道通君子)の地人関係

Earth-Human Relationship of Simgeub-doyu and Dotong-gunja

研究の背景および目的

本研究は韓国伝統哲学における心急道儒(心急道儒)と道通君子(道通君子)の思想およびその地人関係を考察し、その時代別・思想別の意義を分析することを目的とする。

- 心急道儒(心急道儒)とは道学(道学)に邁進しつつ心の急い悟りを求める儒学者を意味する
- 道通君子(道通君子)は道通(道通)、すなわち真理を通達し体化して具現する君子を意味する。道学の伝統と学問的系譜を受け継ぎ実践する人物である。
- これらの関係性研究を通じて、儒学と道学が韓国思想史においていかに相互作用しつつ発展してきたかを理解できる。
- 伝統儒学の関係網と知識伝授体系を考察することにより、韓国伝統思想の特徴と現代的意味を再照明しようとする。

『我もまた大いなる師に出会えず、学び習うにおいて尺度が定まらなかった。しかし書を読みつつ義理のある所を分別し、自ら悟り得たものが多い。』

道通君子(道統君子)の意味

道通君子(道統君子)は道通(道通)、すなわち真理を通達し体化して具現する君子を意味する。

- 道通君子は道統(道統)、すなわち道学の伝統と学問的系譜を受け継ぎ実践する人物である。
- 心急道需とは異なり、焦燥さより道を体じし調和的に実践することを志向する。
- 学問と修養の完成を通じて真理を悟り実践する理想的人格を意味する。

『道統(道統)について致知(致知)と涵養(涵養)は互いに離れることのできないものである。離れることができないのは、聖学(聖學)が手足のように互いに補完しているからである。』

心急道需と道通君子の相違は修行方式と価値志向において現れ、本質的には相互補完的関係を形成する。道通君子は儒家(儒教)の核心的な道徳的・学問的価値を具現する理想的人間像であるといえる。

- 道学においては道通君子の役割を、学問の継承と伝播において重要に見る。
- 歴史的には儒教の道統系譜を継ぐ重要人物を指してきた。
- 個人的修養のみならず社会と国家への責任を重視する。